

■ミラノ万博日本館の第二の拠点「ジャパンサローネ」が開幕

6月25日、「ジャパンサローネ」がついに開幕しました。ジャパンサローネは、7月13日までの19日間行われ、日本政府とともに日本館協賛企業や団体などが参画し、官民一体となってプレゼンテーションを行うミラノ万博日本館の第二の拠点です。シンポジウムや商談会の場として活用されるほか、会場では日本食・日本食文化、アニメやキャラクターから伝統工芸まで様々なクールジャパンコンテンツを揃え、さらに訪日促進のための観光PR等、幅広く「日本」をアピールしていきます。

開催初日である6月25日、11時（現地時間）よりジャパンサローネオープニングセレモニーを行いました。長谷部正道 農林水産省大臣官房審議官より「ミラノ万博を機にミラノを始めとするイタリアの日本における知名度が浸透している。本日開幕したジャパンサローネも日本をPRする絶好の機会」と述べ、続いて福井昌平ミラノ万博日本館総合プロデューサーより、「ジャパンサローネは、日本が発信する知恵と技を、具体的なビジネスに結び付けるビジネスマッチングの場」と述べました。

加藤辰也ミラノ万博日本政府代表が開幕の喜びを述べた後、日本館特別大使のハローキティも駆けつけ、ミラノ市評議員、会場であるステッリーネ財団理事長らを来賓に迎え、日伊の交流を深めました。

□ジャパンサローネプレスリリースは次のURLよりご覧いただけます。 <http://expo2015.jp/news/index.html#press_150626>



■開幕2カ月日本館経過報告 ～来館者数54万人を突破！～

日本館は開館2カ月間で54万人の来館者にお越しいただき、日々行列の絶えない人気パビリオンの一つとなっています。そして7月11日には、日本館として会期中最大の盛り上がりを見せる「ジャパンデー」が開催されます。海外から多くの要人にもお越しいただいており、ベルギーのクリス・ペーテルス副首相（5月9日）、イタリアのマウリツィオ・マルティーナ農林政策大臣（5月13日）、モロッコのララ・ハスナ王女（5月23日）、イタリアのピエトロ・グラッソ上院議長（6月13日）、スロベニアのミロ・ツェラル首相（6月19日）、タイのチャクラモン・パーサクワニット工業大臣（6月20日）等にご来訪いただきました。

□開幕2カ月目プレスリリースは次のURLよりご覧いただけます。 <http://expo2015.jp/news/index.html#press_150701>



クリス・ペーテルス副首相(ベルギー) ※右から二人目



マウリツィオ・マルティーナ農林政策大臣(イタリア)



ララ・ハスナ王女(モロッコ)



ピエトロ・グラッソ上院議長(イタリア) ※右から一人目



ミロ・ツェラル首相(スロベニア)



チャクラモン・パーサクワニット工業大臣(タイ)

■ イベント広場 6月開催の様子-1

- ① 「ARITA PORCELAIN PARK in MILANO BY SAGA PREFECTURE」 (5月31～6月2日) 佐賀県有田焼創業400年事業実行委員会
- ② 「日本の器 日本の食卓」 (6月2日～6日) 日本陶磁器産業振興協会
- ③ 「京都ウィーク『日本の美意識の原点 京都 ～伝統と革新～』」 (6月7～11日)
ミラノ国際博覧会京都ウィーク実行委員会 (京都府/京都市/京都商工会議所等)
- ④ 「2015年ミラノ国際博覧会『美と食の融合芸術展』」 (6月13～14日) 2015年ミラノ国際博覧会「美と食の融合芸術展」実行委員会
- ⑤ 「日本風今昔～南九州薩摩 (特に旧島津領) の民俗芸能 (特に食育) の変遷」 (6月15～16日)
NPO法人 ころろとからだのサポート 夢飛行/霧島市 (鹿児島県)
- ⑥ 「下水道が生み出すチカラ ～新しいいのちの循環～」 (6月17～18日) 国土交通省下水道部/G C U S



■ イベント広場 6月開催の様子-2

- ⑦ 「日本文化の多様性を体感するーFeel and Experience the Diversity of Japanese Culture」 (6月19～21日) 全国商工会連合会
- ⑧ 「四季の食と庶民の文化」 (6月22～6月23日) NPO法人長久手エンジン
- ⑨ 「洋と和の融合を目指した菓子の製造実演」 (6月24～25日) 一般社団法人 日本洋菓子協会連合会
- ⑩ 「美しい日本の花と豊かな花文化」 (6月26～27日) 全国花き輸出拡大協議会／一般財団法人池坊華道会
- ⑪ 「伊賀流忍者の精神と食文化」 (6月28～30日) 伊賀市 (三重県)



■ミラノ万博関連ニュース

・万博会場内で、ピザ世界最長のギネス記録に挑戦！

6月20日、万博会場で世界記録への挑戦が行われました。会場内大通り（デクマーノ）においてイタリアのピザ職人たちが長さ1595.45メートルの世界最長のピザを完成させ、ギネス記録に認定されました。本イベントには、職人80人やボランティアら300人以上が参加。19日夜から生地作りなどの準備に取り掛かり、20日午前に来場者らが見守る中、移動式オーブンをを使ってモッツアレラチーズにトマトをトッピングしたピザを焼き上げました。使用した小麦粉は約1700キロ、トマトは1500キロでモッツアレラチーズ1500キロが使われ、約3万5000人分に相当するということです。



・プーチン大統領、ミシェル・オバマ夫人らVIPが続々来訪

世界各国VIPが相次いでミラノ万博を来訪しています。6月10日のロシア・ナショナルデーでは、プーチン大統領が日本館隣のロシア館を観覧したほか、6月18日には、ミシェル・オバマ米大統領夫人がレンツィ伊首相夫人とともに会場を訪れるなど、連日海外からの要人が相次ぎ、万博会場を盛り上げています。

・パビリオン紹介

●カザフスタン館・・・2017年アスタナ万博の開催国であるカザフスタン館は、砂絵のアートの実演のほか、3Dシアターのメインショーなどが人気のパビリオンです。パビリオン正面のステージでは、連日伝統的な音楽等のパフォーマンスが披露されています。



●ドイツ館・・・万博会場の中でも開催国のイタリア館に次ぎ2番目に大きいパビリオンがドイツ館です。入場前に「シードボード (SeedBoard)」という、センサー機能を持つシールがついた段ボール紙が配布され、水、土壌、気候、生物多様性の4つの展示で反応する仕組みとなっています。シーボードでは、水の浄化や、農業のサイクル、気候の変化、野菜の品種改良など、テーマ別の解説映像を見ることができます。

